

1. 件名：
MHI 原子力研究開発株式会社の防災訓練実施結果報告書（案）の説明について
 2. 日時：
令和4年12月26日（月）15時00分～16時30分
 3. 場所：
原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所
 4. 出席者：
原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所
関谷原子力防災専門官、早川原子力保安検査官
MHI 原子力研究開発株式会社
技師長、次長
 5. 要旨
MHI 原子力研究開発株式会社より、防災訓練実施結果報告書（案）の説明を受けた。
主な内容は、以下のとおり。
 - (1) 訓練実施日
令和4年11月11日（金）
 - ・第1部：13時30分～16時00分（2時間30分）
 - ・第2部：10時00分～11時15分（1時間20分）
 - (2) 想定した原子力災害の概要
 - ・第1部：地震を起因として、試験装置が損傷し、これへの対処
 - ・第2部：地震を起因として、燃料集合体が落下し、原災法第10条及び第15条に至る原子力災害への対応（*広域消防も参加）
 - (3) 主な訓練成果
 - ・ERC プラント班長との間で、電話、FAX 及び書画装置（画像情報）により、必要十分な情報伝達を実施できた。
 - ・特に、ERC 担当者に関して、昨年までの副担当者を今年度は主担当者として報告・質問対応を担当させた。昨年の経験等が十分に活用され、十分な対応を実施できており、また、人材育成や長期的な対応（交代）を可能にする上でも有効である。
 - ・通報文の記載ミスが生じたので、対策を講じる。
 6. その他：
配布資料なし。
- 原子力規制庁からは、現在の能力を維持するとともに、他の事業者において書画装置を使用した情報共有を開始する際、そのノウハウを提供するように依頼した。